

高原を疾走!

大山高原クロスカントリー大会

今年で6回目となる「大山高原クロスカントリー大会」が7月31日、大山・豪円山エリア内特設コースで行われました。

爽やかな風が吹き、時折曇り空となつて、選手が走るのには絶好のコンディション。1周2キロ、高低差約40メー

「がんばって!」。選手の力を走を応援しようと家族や友人らが会場を訪れ、声援を送りました。



▲西脇工業高校など駅伝の強豪チームも大会に参加

名和野球スポーツ少年団 準優勝!



▲みんなで力を合わせました

7月17日(日)、米子市民球場で鳥取県スポーツ少年団軟式野球交流大会が行われ、各地区予選を勝ち上がった4チームが出場し、熱い戦いを繰り広げました。

名和野球スポーツ少年団は1回戦で鳥取市の若葉台スポーツ少年団を8対7で下しましたが、決勝では境港市の余子スポーツ少年団に3対2で惜しくも敗れました。

主将の仲川遼太君は「優勝できなかったのは悔しいけれど、暑い中、2試合を集中してみんなががんばれたので良かったです。」と話しました。



▲「あっ!そこにヤマメがいるよ!!」

甲川うぐいす橋の下の広場で、8月7日「第9回甲川溪流まつり」が行われました。(主催・中山まちづくり実行委員会：岸本耕二会長)

参加者は年代別に分かれて、放流されたヤマメをつかみ捕り。子どもだけでなく、大人も童心に帰り、泳ぎ回るヤマメを捕まえては笑顔がこぼれました。

捕まえた魚はさつそく計測。大物賞は29センチのヤマメを捕まえた井上夏輝さん(小6)で、岸本会長から賞品が贈られました。

昼食には、流しそうめんや捕まえたヤマメを塩焼きにして、焼きたてを「ガブリ」。水温15℃と冷たく、川面を涼やかな風も通り抜け、参加者は自然にふれあいながら心地よく夏の一日を過ごしました。

岸本会長は「自然を思い切り楽しめるこの溪流まつりを来年もぜひ、行いたい」と話していました。



▶会話も自然とはずみずみ